作成日: 2026 年 04 月 09 日
改訂日: 2026 年 04 月 09 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名：	pH標準液
注文コード：	73426030
会社名：	株式会社MonotaRO
所在地：	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183　リベル3階
担当者名：	商品お問合せ窓口
電話番号：	0120-443-509
FAX番号：	0120-289-888
緊急連絡先：	所在地と同じ
整理番号：	M260511
推奨用途：	試験研究用
使用上の制限：	推奨用途以外の使用は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類　GHS 分類に該当するデータは得られていない。

GHS ラベル要素

絵表示　なし

注意喚起語　なし

危険有害性情報　データなし

注意書き

安全対策	データなし
応急措置	データなし
保管	データなし
廃棄	データなし

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別：　混合物

化学名または一般名

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	（化審法）	（安衛法）	CAS RN®
炭酸水素ナトリウム	0.21%	1-164	既存	144-55-8
炭酸ナトリウム	0.27%	1-164	既存	497-19-8
水	99.52%			7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：	皮膚を速やかに洗浄すること。 皮膚の刺激が持続する場合は、医師の診察・手当てを受けること。
眼に入った場合：	水で数分間、注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診察、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状：	データなし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項：	データなし
医師に対する特別な注意事項：	データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	粉末消火剤、噴霧水、泡消火剤、乾燥砂、炭酸ガス
使ってはならない 消火剤：	棒状注水
特有の危険有害性：	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガス、煙霧を発生するおそれがある。 消火水は汚染を引き起こすおそれがある。
特有の消火方法：	消火活動は風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：	自給式呼吸器（SCBA）眼や皮膚を保護する耐熱性の完全防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置：	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。 風上から作業して、風下の人を避難させる。
環境に対する注意事	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさ

項：	ないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	漏出物を封じ込め、不活性材料（乾燥砂、土、珪藻土、バーミキュライトなど）で吸収し、行政の規制に従って密閉できる容器に回収する。
二次災害の防止策：	環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意：

取扱い：

技術的対策：	局所排気装置を使用すること。 『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用すること。 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
接触回避：	『１０．安定性及び反応性』を参照。
衛生対策：	取扱い後は手を洗うこと。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。

保管：

安全な保管条件：	容器は遮光し、冷暗所に密閉して保管する。
安全な容器包装材料：	供給者が提供した容器と同等の材質

8. ばく露防止及び保護措置

化学名または 一般名	管理濃度	許容濃度 （産衛学会）	許容濃度 （ACGIH）
該当物質なし			

設備対策：	工程の密閉化、局所排気その他の設備対策を使用する。 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具：

呼吸用保護具：	リスクアセスメントに基づいた適切な保護マスクや呼吸用保護具

手の保護具：	リスクアセスメントに基づいた適切な保護手袋
眼、顔面の保護具：	リスクアセスメントに基づいた適切な保護めがね
皮膚及び身体の保護具：	リスクアセスメントに基づいた適切な保護衣（長袖作業服など）
特別な注意事項：	データなし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
形状：	液状
色：	無色透明
臭い：	無臭
融点/凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	10.02 （25℃）
動粘性率：	データなし
溶解性：	データなし
n-オクタノール/水分配係数（対数値）：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び/または相対密度：	1.00
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	データなし
化学的安定性：	通常取り扱いにて安定。
危険有害反応可能性：	通常の処理ではなし。
避けるべき条件：	高温と直射日光
混触危険物質：	データなし
危険有害な分解生成物：	データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）：	区分に該当しない 炭酸水素ナトリウム（0.21%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 炭酸ナトリウム（0.27%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 水（99.52%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 毒性未知成分の合計が 0.1%未満であるため、区分に該当しないとした
急性毒性（経皮）：	区分に該当しない 炭酸水素ナトリウム（0.21%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 炭酸ナトリウム（0.27%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 水（99.52%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 毒性未知成分の合計が 0.1%未満であるため、区分に該当しないとした
急性毒性（吸入：気体）：	区分に該当しない（分類対象外） GHS 定義による気体ではない
急性毒性（吸入：蒸気）：	区分に該当しない 炭酸水素ナトリウム（0.21%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 炭酸ナトリウム（0.27%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 水（99.52%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 毒性未知成分の合計が 0.1%未満であるため、区分に該当しないとした
急性毒性 （吸入：粉じん・ミスト）：	区分に該当しない 炭酸水素ナトリウム（0.21%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 炭酸ナトリウム（0.27%）：0.27% / 1.2 = 0.225 （出典：NITE） 水（99.52%）：区分に該当しないため、計算対象外とした 毒性値計算の合計 = 0.225 ATEmix = 100 / 0.225 = 444.4444 ATEmix の計算値が 12.5 < 444.4444 であるため、区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性：	区分に該当しない 加成方式より区分がつかないため、区分に該当しないとした
眼に対する重篤な 損傷・眼刺激性：	区分に該当しない 製品は、加成方式からは危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
呼吸器感作性：	分類できない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。 成分加算の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が 0.1%以上存在するため、分類できない。
皮膚感作性：	分類できない 成分加算の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が 0.1%以上存在するため、分類できない。
生殖細胞変異原性：	分類できない

成分加算の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が0.1%以上存在するため、分類できない。

発がん性：

分類できない

濃度限界判定の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が 0.1%以上存在するため、分類できない。

生殖毒性：

分類できない

成分加算の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が0.1%以上存在するため、分類できない。

生殖毒性・授乳影響：

ー

授乳影響に関するデータが存在しない。

特定標的臓器毒性 （単回ばく露）：

区分に該当しない

製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

以下、各物質ごとの区分情報
区分 3: 炭酸ナトリウム, 含有率 0.27%, 臓器：気道刺激性 （出典: NITE）
区分 3: 炭酸ナトリウム, 含有率 0.27%, 臓器：麻酔作用 （出典: NITE）

特定標的臓器毒性 （反復ばく露）：

分類できない

方式 1：全栄養段階の毒性値データが揃っている成分が 2 つ以上存在しないため、方式 1 の実施基準に該当しない。
方式 2：全ての成分において毒性値データが不十分であるため、方式 2 の実施基準に該当しない。
方式 3：成分加算のみにより、区分を求める 区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しない 毒性未知成分が存在するため、分類できないとした。

誤えん有害性：

分類できない

データ不足のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性短期（急性）：

区分に該当しない

方式 1：全栄養段階の毒性値データが揃っている成分が 2 つ以上存在しないため、方式 1 の実施基準に該当しない。

方式 2：成分ごとに 1 番強い毒性値を採用し、区分を求める
0% / x = (0% / 1020) + (0% / 250)
加算式の値 x = 373.2845mg/L
以上より、区分：区分に該当しない、毒性乗率 M：0
区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しない

方式 3：成分加算のみにより、区分を求める
区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しない

区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しないとした。

水生環境有害性長期（慢性）：

区分に該当しない

方式 1：全栄養段階の毒性値データが揃っている成分が 2 つ以上存在しないため、方式 1 の実施基準に該当しない。

方式 2：全ての成分において毒性値データが不十分であるため、

方式 2 の実施基準に該当しない。

方式 3：成分加算のみにより、区分を求める
区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しない

区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しないとした。

生態毒性：	データなし
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壌中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	分類できない データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄においては、廃掃法及び関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装：	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制： データなし
国内規制：

陸上規制情報：	国内規制に該当する場合には、その規定に従う
海上規制情報：	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報：	航空法の規定に従う

特別の安全対策：	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)：	非該当
労働安全衛生法：	非該当
毒物及び劇物取締法：	非該当

16. その他の情報

参考文献：	JIS Z 7252:2019 JIS Z 7253:2019 事業者向け GHS 分類ガイダンス(令和元年,経済産業省) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) (NITE) 国際化学物質安全性カード（International Chemical Safety Cards (ICSC) 2020 版危険物輸送のための緊急時応急措置指針 容器イエローカードへの適用 危険物船舶運送及び貯蔵規則（21 訂版）国土交通省海事局検査測度課 監修 製造元メーカー提供資料
その他：	記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。 なお、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。 また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。 全ての化学製品は、未知の有害性があり得る為、取り扱いには細心の注意が必要です。 ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。